

立山

tateyama

共に、積み上げていく。

No.100 | 2017
February

- 部長のあいさつ.....1
- 第40回造園感謝祭を終えて.....2
- 技能推進活動.....3
- 40周年記念事業（チューリップ公園）.....3
- 青森県全国大会に参加して.....4
- 40周年記念事業（グランドプラザ）.....4
- 技能検定予備講習会.....5
- 京都研修旅行.....5
- 活動ギャラリー.....6
- 技能奉仕活動.....7,8

ご挨拶

一般社団法人 日本造園組合連合会
富山県支部青年部 部長

西中 雄一郎

この度、私たち一般社団

法人 日本造園組合連合

会 富山県支部青年部の

広報誌「立山」の発行が

100号を迎えることとなり

ました。

一言で100号と言いますがこれまでは長い年月と、発行

に携わられました多くの方々のご苦勞とご協力があり

ました。

特に歴代の広報部員の方々におかれましては「皆が知り

たい」「皆に知ってもらいたい」情報を、「見やすく」「わかり

やすい」形とするために、はじめは手書きの文章だけだった

ものに写真が加わり、ページ数が増え、カラー印刷となる等、

時代に合った広報誌となるようにと努力をされ、試行錯誤



され形を変えてこられました。

広報誌「立山」は今回の100号を区切りとして、今後の

広報活動は平成23年より開設されたホームページへと

移行されることとなります。それによりこれまでと形こそ

変わりますが、このホームページが私たちの広報誌「立山」

であることには変わりありません。より良い広報活動と

なりますよう努力をして参りますので、一般社団法人

日本造園組合連合会 富山県支部の皆様、当青年部OBの

皆様にはこれまで同様、温かく見守っていただけますよう、

宜しくお願い申し上げます。

また今後は、今まで以上に広く皆様方に私たちの活動を

知っていただける事になります。私たちはこれまで以上に

富山県造園青年部の一員としての自覚を持ち、青年部活動

に励んで参りたいと思いますので、皆様方には今後とも

ご指導、ご鞭撻いただけますよう、重ねて宜しくお願い

申し上げます。

第40回 造園感謝祭を終えて

今井 浩司

平成28年2月、40回目の造園感謝祭が、北陸ブロックの担当区として執り行われ、富山県支部としては平成12年以来の2度目、北陸ブロックとしては初の奉納行事となりました。

北陸ブロックの青年部員により、結成された奉仕団は100名を超え、延べ3日間に渡る感謝祭を成功裏に終えたことは、私達青年部の団結力と、諸先輩方々の御指導等があったからこそと思っています。そしてこの造園感謝祭をやり終えたことを契機とし、北陸ブロックの

更なる団結と発展が、この業界の全国的な繁栄に繋がることと信じております。

自然の材料を扱う日々の造園作事に感謝、同じ夢を抱く全国の仲間にも感謝、今回の感謝祭を終え、この素晴らしい行事が、神々しい伊勢の地で、末永く続くことをあらためて願った、第40回の造園感謝祭でした。

40回目を
迎えることが
できました！



技能推進活動

40周年記念事業

チューリップ公園に
向けて、「苔玉、ハン
ギングバスケット、
寄せ植え」の講習会を
千華園で行いました。

午前中に、苔玉、寄せ
植えを行い、午後からは
ハンギングバスケットを
行いました。普段、草花を
扱うことのない青年部員も
いましたが、悪戦苦闘しながら
もチューリップ公園の40周年
記念事業にむけてみんな真剣
にっていました。千華園の石村
修子さんも何度も講師を経験
されておられるということ
で、教え方も大変上手で、これ
から青年部も人にプレゼンをして
いく技術も磨いて行く大切さも
実感した日でした。



40周年記念事業

(チューリップ公園)

作庭のワークショップ、先日
技能推進で行った苔玉、ハン
ギングバスケット、寄せ植え、
カブトムシの幼虫販売等
をしました。特に、作庭のワー
クショップは近隣の中学生た
ちに参加していただき、土いじ
りの楽しさを知ってもらえた
と思います。庭丸くんのマスコ
ットがものすごい好評で、多
くの観光客の方と写真をと
ったのが印象的でした。
タイムカプセルの開封式では、
なんと10年前にこのタイム
カプセルにメッセージを残した



全国大会（青森）



went to Aomori



富山県からも9人で参加

してきました。久しぶりに会う

同士との交流で、大変刺激を

受けました。今回も研修を兼ね

て行ったので、青森の食である

バラ焼きを堪能し、庶民派の

自分には最高に美味しいご当地

グルメでした。

観光地は奥入瀬渓流の大自然

でマイナスイオンを感じました。

改めて自然が作る景は人間が

造れるものではないと思いま

した☆

岩手の中尊寺と毛越寺も

とても勉強になりました。

/// 壮大な自然が
作る景色 ///



40周年記念事業

（ランドプラザ）

記念事業2回目を富山市の

ランドプラザで行いました。

暑い中ではありましたが、

多くのお客さんに参加してい

ただきました。竹細工、軽トラ

ガーデン、モスグラフィティ、

苔玉、花のリーフづくり、

高所作業車体験など多くの

企画はどれも盛況で参加して

くれたお客さんも楽しんでた

ように見えました。この行事を

通して普段はあまり話すことの

ない支部員とも交流もでき、

より一層に青年部が一致団結で

きる事業になった気がします。

どの時代になってもモノ

づくりの楽しさは永遠なんだ

と感じました。

これからも、少しでも緑を

近くに感じてもらえる活動を

していきたいです。



技能検定予備講習会

今年もこの季節になりました。未来の造園人を目指して多くの人が参加し勉強をしている姿を見ると、自分も身が引き締まる感じがします。昨年から、過去に出題された要素試験をもとに木々の葉を集めてきました。少しでも理解し本番に備えてほしいです。



種類豊富な葉っぱが用意されました！

京都研修旅行

11月5日・6日と京都へ研修旅行に行ってきました。久しぶりのバスでの研修旅行ということで楽しめました。

5日

西村石灯呂店

京都国立博物館

6日

重森三玲庭園美術館

松尾大社

梅小路公園『朱雀の庭』

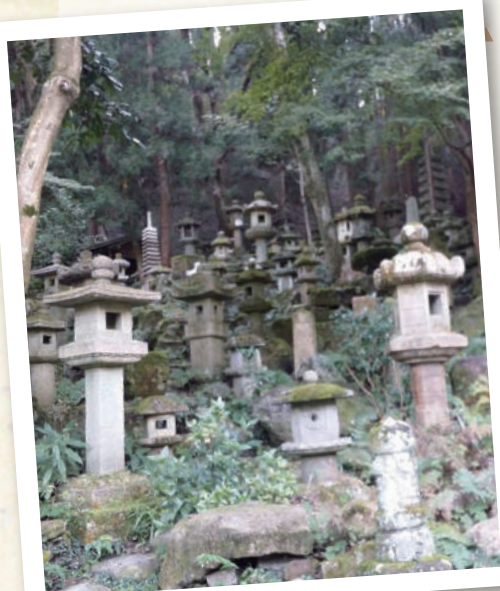


西村石灯呂店では石のビデオに始まり、石材の特徴、歴史、灯籠まで幅広く質問形式で勉強しました。

その後、京都国立博物館に移動し、馬町十三重石塔の解説などを聞きながら勉強しました。個人的にはせっかくなので、坂本龍馬展見たかった…汗

次の日は、小川治兵衛が作庭した無隣庵の庭園見学、松尾大社では曲水の庭、蓬萊の庭などを見学しました。最後に梅小路公園の『朱雀の庭』を見学して終了でした。

紅葉にはまだ早かったですが、京都の魅力を満喫した研修旅行でした。忙しい時間を割いて参加して大変勉強になりました。普段の仕事にも是非とも活かしていきたいと思いました☆



Gallery of Activitise

..... 活動ギャラリー



40周年記念事業

グランドプラザにて、体験する子供たち！



担ぐ姿に
見応えアリ！



京都で自然の
よさを実感



造園感謝祭

業界の一層の発展を願ってアカマツを
奉納しました！



技能推進活動

チューリップ公園の40周年記念事業の
ため、真剣に技術を磨きました。



40周年式典にて全体写真

技能奉仕活動

Report 2016

富山中部 支部

河島 辰典

平成28年11月
19日土曜日、午後
よりルンビニ園
にて造園連富山
県支部青年部、

富山中部支部の技能奉仕活動が行われました。参加者8名、天気にも恵まれ無事松の剪定を終えました。

このルンビニ園は毎年中部支部の先輩方が技能奉仕活動を行なっている場所です。その歴史を感じながら作業を行いました。参加者8名がそれぞれ普段から鍛え上げてきた技術を惜しみなく発揮し、とても綺麗に仕上げることができました。また、お互いの仕事を見て、いい

刺激にもなったと思います。この奉仕活動を通して活動の大切さ、部員同士の結束がより強いものになったと思います。大変有意義な時間になり、とても良かったです。この体験をまた明日へ繋げていきたいと思えます。ありがとうございます。また、ありがとうございました。



富山西部 支部

渡邊 匠

11月27日富山西部支部で技能奉仕を行いました。今年富山市

て、松の剪定作業を行いました。あいにくの雨にも関わらず7名の部員の方に参加頂きました。

うっそうと生い茂る松を見て、「今日は大仕事になるな」と思いきや、高所作業車1台、ゴンドラ2台による作業は壮観で部員1人1人の手際の良さもあり、アツという間の奉仕活動になりました。

私にとって他の部員の方と仕事をする機会がほとんどないので

今回の奉仕活動でいろいろな気づきこともあり良い勉強となりました。



新川 支部

高島 浩太

11月5日魚津埋没林博物館に剪定技能奉仕を行いました。全員集まることができず、5人での作業でしたが天候にも恵まれ、芝生に寝転んで一服したり、来館されたお客様に剪定を教えたりと、楽しく作業することができました。

終了後にはすごく綺麗になったところでも喜んでいました。

剪定を通して地域の方と触れ合えるいい機会でした。

埋没林博物館の皆さんには奉仕活動に快諾していただき感謝

しております。
ありがとうございました。



射水 支部

村上 洋

ここ数年、富山県立大がよく活動場所となるのは、作業しやすい事と駐車場が広い事が関係していると思われます。

当日は、軽トラを始め2t車4t車などが集まり、駐車場にて皆で作業開始前の一服を楽しみました。

最後に到着したのは野間さんで、今回県立大に技能奉仕の内容を交渉してもらいました。彼が来たので、作業開始となりました。

皆で、松3本を剪定し剪定ゴミを敷地内で処分しました。

夕方から、地元

の居酒屋にて慰労会を行い支部員8名が参加しました。料理の美味しいお店で、締めめの雑炊まで滞りなく完食し、大いに楽しみました。

来年もまた、支部員皆で事故なく楽しく技能奉仕活動に参加出来る事を期待しています。



技能奉仕活動

Report 2016

高岡・氷見・砺波
支部
宮下 大輔

11月20日の日曜日、高岡、氷見、砺波支部の3支部合同で、技能奉仕活動を行いました。活動場所は高岡の中保団地の中にある児童公園でした。この場所は今回、私たちが奉仕活動を行うにあたり、高岡の市役所の「花と緑の課」から紹介して頂いた場所で、中低木の手入れをして欲しいとの事でした。公園に植えてある樹木はそう大きくはなかったものの見た感じは広い公園で、どれくらい時間が掛かるのかと少し不安も有ったのですが、そこは3支部総勢16名の精鋭。迅速な作業と見事な連携で次々と仕事をこなし、あっという間に公園を美しく仕上げていきます。

最後は「ボランティア袋」という高岡市から受け取っていたゴミ袋に剪定枝を詰め込み、後日、市の回収員さんに引き取って貰うばかり。雨が降ってきたこともあり、我々16名のヒーロー達は風のように去って行くのでした。後日、余ったボランティア袋を市役所に返しに伺ったのですが「見に行ったらもう終わってて驚いた。きれいにして貰ってありがとう。」と、感謝の言葉を頂き、とても嬉しく思いました。今回の奉仕活動は、欠席無く参加頂き、感謝の言葉まで頂き、大成功だったのでは無いかと思えます。また次からの奉仕活動も積極的に協力していけたらと思います。



小矢部
支部
吉高 篤

小矢部支部の技能奉仕活動は、クロスランド小矢部に新設されたアートハウス前に夢ドームを作成する作業でした。今年が初めての試みでしたので、携わった部員の多種多様な意見が飛び交い暗中模索の催しとなり、これをきっかけに支部員同士の親睦が深まったような気がしました。夢ドームとは、半円形のハリボテに耐久性のある色紙を貼り付け、夜間照明でライトアップのできるドームであり、昼夜を問わず1週間クロスランドの芝生広場に展示

されるもので、昼間の外観と夜間の景観の二面性を考えながら作らなければならず、簡単そうでしたが実際、やってみると結手間取りました。あいにく、展示期間中は台風の影響で荒天となり、梅ドームを訪れる人々は少なかつたと思います。が、つかの間クロスランドの闇夜に見たドームは幻想的で美しかったです。



南砺
支部

片岸 祐哉

11月下旬、南砺支部で園芸植物園（福野）において技能奉仕活動を行いました。5月に作成しました庭園の除草や清掃、樹木の枯れ枝落とし等の作業を行いました。落葉樹が主なので落ち葉が多く、雑草も目立ち、ドームの外周に編んだ竹穂もいくつか抜け落ち部分的に補強し、作業前と後では庭園の見た目がとてもよくなりました。まるで作成当初のようになりました。

庭園は人が作ったものなので、

やはり人の手で手入れをしてあげないと雑草などに負け荒れ果ててしまい、いけないと思います。植物園の入り口ということもあり、入館者の人達にも気持ちよく入館していただきたいと思っています。これからも、技能奉仕活動を続けていきたいと思っています。



編集後記

皆さんの力もあって無事に広報誌100刊目を発刊するにいたしました。発刊に伴い各青年部より今年度のイベントに際し記事、写真等を提供していただいた方々に大変感謝申しあげます。そして、この広報誌を作成は初め、作り続けてきた先輩方の苦勞と重みと青年部の成長を改めて感じる事ができました。本年は、青年部創設40周年事業の節目の年でもあり、砺波市チューリップ公園、富山市グランドプラザの両事業に取り組んだ年でもありました。普段なかなか知り合えない部員達も

40周年事業成功の目標に向かい一丸となつて取り組んだ様子も記録として残す事ができたと感じております。自分は記念誌・広報誌の双方を担当し良い経験をさせて頂きました。今後、広報誌はなくなり、ホームページの更新で青年部の活動を周知していきます。諸先輩方には楽しみに見ていただければと思います。今後とも青年部をよろしく願います。

広報部部長 湯浅 孝一